

## 令和元年度 相模台地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	小田急相模原北口駅前広場植栽事業 [ 1 ]
申請団体	南大野自治会
事業目的等	自治会区域内にあり、相模台地区の玄関である小田急相模原駅前ロータリーを花でうめることによって、地域の印象を明るくし、多くの方を和ませる。
交付決定日	平成31年 4月23日
交付決定金額	132,000 円 (全体事業費 132,000 円)
団体実績報告	<p><b>事業実績</b></p> <p>小田急相模原北口駅前広場に植栽を行った。</p> <p>開催日:令和元年6月15日(土) 9時から14時 参加人数:40人、植栽数:500苗(ペゴニア)</p> <p>開催日:令和元年11月16日(土) 9時から14時 参加人数:40人、植栽数:500苗(スマイレ)</p> <p><b>自己評価</b></p> <p>地区の玄関口である駅前を花で飾ることで、相模台地区の印象を明るくし、多くの方を和ませることができた。「おださが」という花文字をつくることで単に花を植えるだけでなく地域の一体感や愛着の一助にもなったと思う。今年度は、春と秋の2回実施し、長期間楽しんでいただけるものとなった。</p>
市評価	駅前広場に「おださが」の花文字を作った事業の継続である。春と秋に植栽を行うことで、年間を通して花文字や植栽を見ることができ、「おださが」の花文字は駅前のシンボルの存在となっている。地域への愛着が伝わる事業である
備考	

申請事業名	中学校と連携した自転車マナーアップ講習会 [ 2 ]
申請団体	相模台地区自治会連合会
事業目的等	若草中学校と連携し、中学生をメインの対象とした自転車マナーアップ講習会を開催し、交通安全の意識を高め、交通ルールを守ることの大切さと無謀運転の危険性を学び、自転車の正しい乗り方などの安全指導の徹底を図るとともに、生徒だけでなく保護者・地域・警察・学校・行政等の団体間の連携強化を図る。
交付決定日	平成31年 4月23日
交付決定金額	290,000 円 (全体事業費 290,527 円)
団体実績報告	<p>事業実績 [実施日] 令和元年5月17日(金) 5,6時間目(午後1時35分から午後3時まで) [場 所] 若草中学校 校庭 [内容] ・プロのスタントマンによるスケアードストレイトの実施 ・相模原南警察署の交通課職員による、地域で起こった事故の再現と講習 ・事前学習(自転車マナー検定)の実施。アンケート調査 [参加者] 生徒206名、他約30名(教師・保護者・地域の方)</p> <p>自己評価 プロのスタントマンによる事故の再現で怖い、ヒヤッとした体験を通し交通安全意識を高め、交通ルールを守る大切さと無謀運転の危険性を学ぶことができ、安全指導の目的が達成できた。 最近ニュースで、自転車事故による逮捕者や多額の賠償金支払いの事案を見聞きしているため、他人事として捉えている生徒は少なく、マナーアップの向上に繋がった。</p>
市 評 価	<p>相模台地区は自転車のマナー向上が課題で、日頃から交通安全の啓発活動を行っている。</p> <p>自転車に乗る機会の多い中学生を対象に、学校と連携し今回の事業を実施したことは、日頃の啓発活動に加えてさらなる安全意識の向上に寄与するものであった。地域課題解決の一助になる事業であり、来年度以降の実施についても期待したい。</p>
備 考	

申請事業名	おださがロードフェスタ [ 3 ]
申請団体	おださがロードフェスタ実行委員会
事業目的等	<p>おださがロードフェスタを通して「おださかの魅力」を発信し、地区中心市街地である小田急相模原駅前及びサウザンロード等、周辺の商業の賑わいを喚起するとともに、皆で参加し楽しみながら、人と人との繋がりを通して子どもたちの思い出に残る故郷のお祭りとして定着させる。</p> <p>また、地域の学校にイベントへの参加やボランティアなどの協力の働きかけをすることにより、祭りへの参加体験を通して将来的な地域活動への参加を促す。</p>
交付決定日	令和元年 6月28日
交付決定金額	1,000,000 円 (全体事業費 1,296,376 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>1 開催日時:令和元年10月5日(土)、6日(日) 午前11時から午後7時</p> <p>2 会場:小田急相模原駅周辺及びサウザンロード</p> <p>3 内容:ステージ、模擬店、仮装パレード等</p> <p>4 事業結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数 35,000名</li> <li>・ステージ出演団体 20団体</li> <li>・仮装コンテスト 101組</li> <li>・パレード、歩行者天国 25団体</li> <li>・模擬店 41ブース</li> </ul> <p>自己評価</p> <p>ロードフェスタを通して、地区中心商業地である小田急相模原駅前及びサウザンロード等の商店や企業を知ってもらえる良い機会になり、「おださが」の認知度を上げることができた。また、参加型のイベントを行うことにより地域の交流の場にもなっている。</p> <p>6回目を迎え、祭りの認知度も上がり、事業の目的である商業の賑わいを喚起することや、子どもたちの思い出に残る地域のお祭りとして定着しつつあり、目的を達成することができた。</p>
市評価	<p>今回で5回目の開催となり、相模台地区の行事として定着し、地域を盛り上げている。また、ボランティアスタッフとして多くの学生も参加しており、若い世代の地域行事参加も促進している。さらに発展して頂きたい事業である。</p>
備考	

申請事業名	「地区CON」開催事業 [ 4 ]
申請団体	相模台中学校PTA
事業目的等	子ども達のよりよい教育環境づくりを図ることを目的に、地域の方々と保護者、学校の交流、意見交換の場として「地区CON」を開催し、地域と学校、家庭の連携により地域コミュニティづくりを強化する。
交付決定日	令和元年 8月23日
交付決定金額	100,000 円 (全体事業費 105,637 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>[実施日] 令和元年11月1日(金) 午後5時30分から午後7時30分まで</p> <p>[場 所] 相模台中学校 体育館</p> <p>[内容] ・校長による学校紹介 ・「元気になる・やる気を引き出す言葉の力」をテーマとした講演会</p> <p>[参加者] 107名(地域住民54名、保護者・生徒32名、教職員21名)</p> <p>自己評価 ・校長先生の学校紹介により、参加された方々は学校を身近に感じ、地域としての一体感が醸成された。 ・講演会で得た「元気になる・やる気を引き出す言葉」を、それぞれの立場において早速実践されている。 ・上記からも、子どもたちの育ちを地域で見守り支える環境づくりの一助となり、狙い通りの企画と実行であった。</p>
市 評 価	<p>地域の方々にも回覧等により広く参加を呼びかけられた事業であり、当日も和やかに活発な意見が交わされ、参加者は、学校の取り組みの理解や言葉がけの知識を得ることもでき、有意義な懇談会であったと考える。</p> <p>学校・保護者・地域が一体となり、子ども達の育ちを見守るためにも、今後も継続し、発展していただきたい事業である。</p>
備 考	

申請事業名	相模台地区防犯パトロール運動 [ 5 ]
申請団体	南区安全・安心まちづくり推進協議会 相模台支部 防犯部会
事業目的等	自転車かごに取り付ける「防犯パトロール中」のプレートを作成し、自治会・防犯部会を初めとした地域で活動する団体に配布し、防犯活動を実施することで、安全・安心なまちづくりを推進する。
交付決定日	令和2年2月19日
交付決定金額	440,000 円 (全体事業費 440,000 円)
団体実績報告	<p><b>事業実績</b> 相模台地区のシンボルマークが入った「防犯パトロール中」の自転車カゴプレートを500枚作成した。 自治会、防犯部会、交通部会、交通安全母の会、まちづくり会議委員、高齢者支援センター、相模台地区内7小中学校などに配布。さらに、地域情報紙とホームページなどで広く宣伝し、自治会や団体以外の人にも自転車に付けて、防犯意識の高揚を図りながらパトロールしていただけるように周知する。</p> <p><b>自己評価</b> プレートについては、シンボルマークを入れ、素材も反射材としたことで、利用者からも好評を得ることができた。 今回の事業により、防犯活動参加者が増え、犯罪や自転車盗難の減少に繋がることを期待したい。</p>
市 評 価	<p>防犯パトロール中のプレートを付けた自転車が区内を巡回することで、犯罪や事故の減少が期待され、地区の安全安心に貢献される事業と評価できる。 今後の犯罪件数の推移にも注目していきたい。</p>
備 考	

申請事業名	自治会加入促進事業	[ 6 ]
申請団体	相模台地区自治会連合会	
事業目的等	<p>相模台地区自治会への加入促進を図るため、地区のシンボルマーク入りの加入啓発のぼりや横断幕を作成する。</p> <p>併せて、シンボルマークの普及啓発活動を行い、地域の一体感と住民意識の醸成を図るとともに、相模台地区の一層の活性化を図る。</p>	
交付決定日	令和2年2月19日	
交付決定金額	200,000 円	(全体事業費 200,760 円)
団体実績報告	<p><b>事業実績</b></p> <p>相模台地区自治会への加入促進を図るため、地区のシンボルマーク入りの自治会加入促進横断幕やのぼり、啓発品として缶バッジを作成した。</p> <p>制作した物品は、地区内の公共施設や自治会を初めとする地域で活動する団体、小中学校等に掲示し、今後、地域での行事の際などにも活用する。</p> <p>併せて、広くシンボルマークの普及啓発活動を行い、地域の一体感と住民意識の醸成を図るとともに、相模台地区の一層の活性化を図る。</p> <p><b>自己評価</b></p> <p>地区のシンボルマークは、平成29年度に公募を経て制定したが、地区内限定にも係わらず、117作品もの応募が寄せられたことは地区の関心の高さの現れと感じている。</p> <p>このように地域が一体となり制定したシンボルマークを活用し自治会加入促進を図ることで、加入率向上に加え、様々な活動の活性化に繋がると確信している。</p>	
市評価	<p>自治会加入促進に加え、地域の行事の際にも明るいシンボルマーク入の啓発物品を活用することで、様々な活動の一層の活性化に繋がると期待している。</p>	
備考		